令和２年度本庄市社会福祉協議会　事業報告

埼玉県では、６５歳以上の高齢者数は全国的に見ても極めて早いスピードで増加を続けており、総務省国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、２０４５年には高齢化率は３５％を超える見込みとなっています。また、人口も県内の約８５％の市町村で減少し、２０１５年比で県内人口は１０％以上減少すると推計されております。

こうした超高齢社会の進展と人口減少の局面を迎える中、本庄市においても支援を必要とする方の増加が予想されるとともに、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉課題や生活課題が生じるなど、福祉に対するニーズは増大、多様化の一途をたどっています。そのうえ、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動や地域活動の継続が困難になるとともに、経済活動の停滞による生活困窮等の新たな生活課題が急激に顕在化いたしました。本会では、そうした状況の変化に合わせて施策や事業の見直しを行い、喫緊の課題に対応するべく新型コロナウイルス対策応援金を立ち上げるなどしながら、市民生活に寄り添うため新規事業等を積極的に展開いたしました。

本会は、令和３年３月に合併後設立１５周年を迎えました。これまで、多くのみなさまから賜りましたご支援とご協力に感謝を申し上げつつ、これからも市民、関係機関、団体等のみなさまと連携・協働して「地域共生社会」の実現を目指してまいります。また、本庄市と一体的に取り組んでおります「ふくしの杜ほんじょうプラン２１～安心と共生のまちづくり（第２期本庄市地域福祉計画・第２期本庄市地域福祉活動計画）」に基づき、計画目標の達成に向けて各種事業に着実に取り組んでまいります。

主な事業

■財政基盤と組織体制の強化

（１）会員加入の促進と会費収入の強化

・『社協会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができました。

○件　数　　６，４６２件

○金　額　５，６１０,５８４ 円

＜内　訳＞

・普通(個人等)　　５，０１０件　１，５０３，２９０円

・特別(個人等)　　１，１９４件　２，９０７，８９４円

・法人(会社等)　　２５８件　１，１９９，４００円

（２）寄附金募集による自主財源の確保

○寄附金　　４９件　１，０１９，５０８円

（３）自動販売機設置事業

○手数料収入　３台　２９，２７７円

（４）広報活動の実施

・活動報告や制度の周知等を図るため、広報紙の発行などを行いました。

○「社協だよりハート&ハート」の発行（年４回・市内全戸配布）

○ホームページの充実及びフェイスブックページでの情報提供

○ふくしＰＲコーナーの設置

市内病院、飲食店、スーパー等２１か所にＰＲコーナーを設置、情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示にご協力いただきました。

（５）災害ボランティアセンター運営訓練【新規】

・全職員を対象に、災害ボランティアセンターの模擬訓練及び災害時の初動対応に関する協議を行いました。

（６）地域福祉活動計画進行管理【新規】

・ふくしの杜ほんじょうプラン２１の推進にあたり、地域福祉推進委員会（市地域福祉審議会）に諮りながら、進捗管理シートを作成しました。

■高齢者福祉事業

（１）配食サービス事業

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止、また令和２年度をもって事業終結といたしました。

（２）高齢者世帯等安否確認事業

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の高齢者世帯（単身・二人世帯含む）及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配布し、安否確認と孤立防止に取り組みました。

○利用登録世帯数　１，０３７世帯

（３）本庄警察署・児玉警察署との見守りネットワーク

○対象者　１０件

（４）友愛通信事業（絵手紙による友愛訪問活動）

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯を対象に、年２回（暑中見舞いと誕生日）にボランティアが絵手紙を送り、郵便による友愛訪問を行いました。

○対象世帯　７５４世帯

（５）活動者導入促進事業（地域見守り活動の推進）

・自治会連合会と協働し、地域の見守り役として「活動者」の配置を促進しました。

○配置自治会数　３１自治会（活動者数　５０８人）

（６）ふれあいいきいきサロン支援事業

・自治会等身近な地域を拠点に、高齢者等がボランティアや地域の人たちと一緒に楽しく過ごす「住民主体」の交流活動を支援しました。また、コロナ禍で休止中のサロン等に対して個別相談会を開催し、活動再開に向けた支援を行いました。

○サロン数　５７か所

○参加者数　１，７６０人（うち世話人　３６２人）

（７）在宅福祉有償家事援助サービス事業

・在宅の高齢者世帯や障害者世帯等を対象に、掃除や買い物等の家事全般、外出介助等の支援を有償で提供する、住民参加型の家事援助サービスを推進しました。

○利用者数　　３８人（延べ利用者数　１１５人）

○協力員数　　２９人（延べ活動協力員数　１８１人）

○訪問回数　７２１回（延べ活動時間　９０５時間）

（８）地域会食事業（レシピ集配布）

・コロナ禍でもおうち時間を楽しんでもらうために、本庄市食生活改善推進員協議会監修の「健康レシピ集」を、在宅で生活する高齢者世帯等のみなさまに民生委員を通じて配布しました。

〇配布対象者数　約９６０人

（９）介護者リフレッシュ事業

・在宅で高齢者を介護している人（介護者）を対象に、日頃の介護疲れを癒していただくためにマッサージ等施術費用助成券配布を行いました。

〇申込者人数　３５人

■障害児（者）福祉事業

（１）福祉車両・車いす貸出事業

・障害のある人等を対象に、福祉車両や車いすを貸し出すことにより、外出の支援を行い、社会生活の利便性向上と生活圏域の拡大を図りました。

〇福祉車両貸出件数　２４件

〇車いす貸出件数　　９１件

（２）児玉郡市手話通訳者派遣事業

・聴覚障害者とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者を派遣し、意思疎通の円滑化に努め、聴覚障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図りました。

〇派遣件数　　７６６件

〇来所者数　　３０１人

（３）福祉サロン支援事業

・障害のある人やひきこもりがちな若者等、同じ悩みや不安を抱えた者同士が、ボランティア等と協働して行う「生きがいづくり」「仲間づくり」のための交流活動を支援しました。

〇サロン数　７か所

〇参加者数　２１１人（うち世話人　３８人）

（４）共学支援プログラム事業（すべての子どもが共に地域で学ぶための支援プログラム）

・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止といたしました。

〇ボランティアバンク登録者数　　１２人

（５）「障がい者作品展」の開催

・障害のある人の文化・創作活動を支援するために「障がい者作品展」をオンラインで開催しました。障害のある方々が制作した絵画や手芸品などの写真を、ホームページ・Facebook・Twitter で公開しました。

〇１７団体（施設）参加

■児童・母子福祉事業

（１）ファミリー・サポート・センター事業

・子育ての手助けを必要とする人と、子育ての援助ができる人を結び、一時的な育児援助活動を有料で行う会員組織活動を推進するとともに、会員対象の普通救命講習会を

開催しました（会員４人参加）。
○会員数　１５８人　（依頼　１１３人、援助　３６人、両方　９人）
○援助件数　１，６２７件
○ふぁみさぽ通信第２号発行（全戸配布）

■ボランティア活動事業

（１）ボランティア養成講座
・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止といたしました。

（２）夏のボランティア体験プログラムの開催
・施設体験等のボランティア体験は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止とし、自宅でできる活動（おうちでボランティア！～絵手紙づくり・ほんじょうつながりプロジェクト応援メッセージ～）を実施しました。
○メニュー数　２メニュー（延べ１４人参加）

（３）福祉教育推進事業（「総合的な学習の時間」の支援活動等）
・小中学校における福祉教育の推進や学校と地域との協働による福祉体験の機会創出等を目的に、「総合的な学習の時間」の支援活動や、支援に携わる福祉ボランティアの育成等に努めました。
○「総合的な学習の時間」支援　延べ１９回（９小中学校）
○生活支援サポーター養成講座　１回
○参加ボランティア数　延べ８２人

（４）ボランティア啓発促進事業
・ボランティア情報紙の発行を通じて、子どもから大人まで、ボランティア意識の醸成に努めました（年６回発行）。

（５）災害支援ボランティア関連事業（災害時支援体制の強化）
・災害ボランティアの登録・募集を行うとともに、災害ボランティアセンターの運営に必要となる備品整備を行いました。
○登録災害支援ボランティア数　３２人・５団体

■相談事業

（１）心配ごと相談の運営
・市民の心配ごとについて相談に応じ、問題解決を容易にするため各種社会資源を活用しながら生活相談を中心に住民福祉の向上に努めました。
○利用者数　４７人
○相談件数　５６件

（２）結婚相談の運営
１．結婚相談
・健全な結婚思想の普及、配偶者の紹介とそれに伴う相談等を行い、多くの出会いの場の提供に努めました。
○結婚相談開設日の来所者数　男性５２人、女性２３人
○結婚相談登録者数　　男性　１７３人、女性４２人
○お見合い実施回数　　９回
○内部成婚件数　１組

２．ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター

・結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する結婚支援センター（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター本庄）を開設し、入会受付や相談に応じました。
また、婚活パーティー等のイベントも開催し、結婚に対する機運醸成を図りました。

○登録者数（仮会員含む）７，３２１人（うち本庄センター登録者　４１６人）
○お見合い実施回数　７，３１９件（うち本庄センター登録者　１，１００件）
○交際件数　２，８１２件（うち本庄センター登録者　４１３件）
○内部成婚件数　８５件（うち本庄センター登録者　２２件）
○婚活パーティーの実施（１回）参加者数２８人　カップル成立数３組
○第一印象に差をつける！メイクアップレッスンの実施　参加人数６人
○写真撮影会＆占い鑑定の実施　参加人数３１人

（３）成年後見相談の運営

・相談員７人、相談員アドバイザー４人による成年後見相談を行いました。

○相談件数　１９件

■生活福祉事業・権利擁護事業

（１）生活福祉資金等貸付事業

・福祉資金の貸付を行いました。

○件　数　２６件
○貸付額　１，７５９，０００ 円
〈内　訳〉
＊市社協貸付金〈件数２１件/貸付額　６１５，０００円
＊県社協貸付金
・緊急小口資金（件数３件/貸付額　３００，０００円）
・福祉費（件数１件/貸付額　１２４，０００円）
・教育支援費（件数１件/貸付額　７２０，０００円）

・新型コロナウイルス感染症による特例貸付を行いました。（県社協貸付金）

○件　数　２,１８５件
○貸付額　８６６,９５５,０００円
〈内　訳〉
＊緊急小口資金（件数８８６件/貸付額１７０,７４５,０００円）
＊総合支援資金　（件数６８０件/３６３,８１０,０００円）
＊総合支援資金延長　（件数３０１件/１６０,２５０,０００円）
＊総合支援資金再貸付　（件数３１８件/１７２,１５０,０００円）

（２）生活困窮者自立支援制度・自立相談支援事業

・自立相談支援窓口の開設
生活に不安を抱える方や経済的に困窮している方(生活保護受給者を除く)からの相談を受付し、関係機関と連携しながら必要な支援を行いました。

○新規相談受付件数　１,０６１件

（３）彩の国あんしんセーフティネット事業

・生活困窮者に対する相談支援事業として、公共料金の支払いや食糧支援を行いました。

○件　数　７件

（４）フードバンク

・日頃、地域の方や企業の皆さまからご寄附いただいた食品を保管し、生活に困窮している世帯の支援に活用しました。

○件　数　２９１件

（５）福祉サービス利用援助事業

・生活支援員等が、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等のお手伝いを行いました。

○利用者数　１５人　（ 生活支援員数　６人 ）

○専門員・生活支援員による訪問回数　延べ２５７回

（６）法人成年後見事業

・現在３件受任（後見類型２件、保佐類型１件）し、被後見人等の財産管理と身上保護を行いました。

（７）法人後見従事者向け成年後見制度研修

判断能力が不十分な方々を支援する人材を育成するために、法人後見従事者向け成年後見制度研修を全５回で開催しました。

○参加者１１人

■介護保険事業・障害者総合支援事業

（１）ヘルパーステーション事業

・介護保険の訪問介護事業を行うため、ヘルパーステーションを組織し事業を実施しました。

○利用者延べ人数　３４９人

○訪問時間数　３，８２１時間

○ヘルパーステーション利用者数　３３人

（２）ケアプランセンター事業

・居宅介護支援事業を行うため、ケアプランセンターを組織し事業を実施しました。

○利用者延べ人数　１，０７９人

○ケアプランセンター利用者数　１０１人

（３）障害福祉サービス事業

・障害者総合支援法の居宅介護・同行援護事業を行うためヘルパーステーションを組織し、事業を実施しました。

○利用者延べ人数　２２８人

○訪問時間数　１，６２４時間

○障害福祉サービス利用者数　１９人

■地域包括支援センター事業

（１）包括的支援業務

総合相談

・高齢者に関する様々な相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介や調整などを行いました。また「西包括だより」を発行し、相談窓口の周知や情報提供を行いました。

○相談件数　延べ４９８件　訪問状況　延べ２０７件

○「西包括だより」発行　１４回（毎月１回、号外２回）

権利擁護

・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の紹介や情報提供等、高齢者虐待や消費者被害の相談に応じ、必要な対応を行いました。

○対応件数　　延べ１６件・相談者４名
（うち高齢者虐待対応　延べ１２件・相談者３名）

認知症総合支援事業

・認知症カフェや個別相談会、認知症家族の会を実施し、認知症高齢者や家族等の支援を行い、地域における認知症の理解を進め、関係者同士の連携を図りました。

○オレンジカフェ　　７回開催、延べ７８人
○認知症個別相談会　　１２回開催
○認知症家族の会　　８回開催
○認知症サポーター養成講座　４回開催（小学校２回、本庄市新人職員１回、施設・居住系サービス職員（オンライン講座）１回）

生活支援体制整備事業

・生活支援・介護予防サービスの開発や発掘のための取り組みとして、第２層（本庄西地域）生活支援体制整備協議体の活動を行いました。

○協議体会議　４回開催
○「生活支援サポーター養成講座」におけるまごころさぽーとの活動報告
○「生活支援サポータースキルアップ講座」への参加・協力

（２）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・地域包括支援ネットワークの構築のため、介護・医療・保健福祉サービスやインフォーマルサービスなど様々な社会資源との連携を図りました。

○地域ケア個別会議　　６回開催、１２事例
○令和２年度地域ケア課題整理会議　　１回開催
○本庄地域ケアマネ会議　　１回開催
○本庄西地域ケアサポート連絡会　　２回開催
○福祉用具展示相談会　　１回開催

（３）介護予防事業

・高齢者の健康意識を醸成し、地域で安心して生活ができるよう、市の介護予防事業に協力しました。

○「はにとれ教室」体力測定・基本チェックリスト協力　　５回
○介護者教室　　２回開催

（４）介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

・指定介護予防支援事業者として、要支援１・２、及び事業対象者の方に対し、介護予防支援と介護予防ケアマネジメントを行いました。

○介護予防支援　　延べ６１１件
○介護予防ケアマネジメント　　延べ６２１件

■生活支援体制整備事業

（１）生活支援サービス業務

・生活支援コーディネーター業務を受託し、協議体の運営を通じて生活支援体制の整備に取り組みました。

○第１層生活支援体制整備協議体会議５回開催・第２層生活支援体制整備協議体会議参加

○地域ケア個別会議・地域ケア課題整理会議に出席（市内４圏域）

○生活支援サポーター養成講座　参加者１５人（修了者１０人）

○生活支援サポータースキルアップ講座　参加者２８人

○移動販売「とくし丸」の販売地域の相談支援

○移動に関するアンケート調査の実施（タクシー券無料配布事業申込者）

■新型コロナウイルス感染症関連事業

（１）雨合羽応援プロジェクト

・家庭や事業所に保管している雨合羽の寄附を募り、医療現場へ寄贈しました。

○８３着を本庄市児玉郡医師会に寄贈

（２）フードバンク事業（５月実施分）

・休業や失業等により収入が減少となった方等へ、お米や味噌汁、レトルト食品等の食糧支援を実施しました。

○２２７世帯へ７５２セットを配布

（３）～ほんじょう OBENTO プロジェクト～おうちでごはん

・休業や失業等により収入の減少があった子育て世帯を対象に、臨時休校中の支援として市内の飲食店で作った、お昼のお弁当を無料で配布しました。

○１４６世帯へ５２０食を配布

（４）手指消毒剤の配布

・携帯用手指消毒剤を希望する 75 歳以上の高齢者世帯と障害者手帳をお持ちの世帯へ配布しました。

○８３５世帯（１世帯あたり２本）配布

（５）フードバンク事業（８月実施分）

・休業や失業等により収入が減少となった方等へ、お米や味噌汁、レトルト食品等の食糧支援を実施しました。

○２０４世帯へ５００セットを配布

（６）応援メッセージ

・地域のみなさんが元気になるような応援メッセージを募集し、ホームページや SNS 等で多くの方々のあたたかい気持ちを紹介しました。

○５８件

（７）寄附金の募集

・毎日の生活にお困りの方を応援したいといった声を受け、「新型コロナウイルス対策応援寄附金」を募集しました。
○３６件　２，８８３，６３７円

（８）ほんじょうマスクバンク（本庄市と共催）
・マスクが入手困難で、希望される配布対象者（70 歳以上の方等）へ配布しました。
○配布数　６，５２０枚

（９）タクシー券配布事業（ローカルネットワークファンディング実行委員会指定寄附）
・自動車運転免許証を自主返納した方を対象に、抽選でタクシー券を配布しました。
○６０人（３００，０００円分）

（10）クリスマスケーキ配布事業
・休業や失業等により収入の減少があった１８歳以下の子を持つ世帯へ、市内のケーキ屋さんで作った、４号サイズのクリスマスケーキを配布しました。
○３５０世帯へ３５０個を配布

■その他の事業

（１）赤十字会員募集活動【募集期間：５月～９月】
・『日本赤十字社会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができました。
○一般会員　実績額　４，６６２，５００ 円
○特別会員　実績額　　２８９，０００ 円

（２）被災世帯への物資（布団・毛布・日用品）の提供
・火災等被災世帯に救援物資の提供　３件
・火災等被災世帯に見舞金・弔慰金の提供　５件（４５，０００円）